

# オアシス新聞

第四十一号  
山際に揺れて哀愁 カラスウリ

夏の夜に散歩をしていると、運が良ければカラスウリの花に出会うことがあります。薄暗い中で咲く真っ白い花は、まるでレースを編んだような繊細で美しい姿をしています。残念ながら朝にはしぼんでしまっているの、見たことのある人は少ないかもしれません。

夜に咲く花として有名なものに、夕顔や月下美人がありますが、これらも花は白色です。同じく芳香があるのも特徴のひとつで、夜に咲く花は受粉を媒介してもらう生き物に見つけてもらいたいやすいように、闇夜に浮かび上がるような白い花や、芳香を放つものが多いようです。

カラスウリはやがて楕円形の実をつけるのですが、秋が深まるにつれ、緑色からオレンジ色へと変化していきます。夜にしか咲かない花や、若い緑色の実の時はまったく気づかれないことも多いカラスウリですが、色づいたカラスウリなら見たことのある人も多いと思います。木の葉が秋の装いを始める前に、ハロウィンのカボチャを連想させる、オータムカラーの色鮮やかな実は、一足早く秋の気配を楽しませてくれます。そして冬枯れの山にいつまでも残り、木枯らしに吹かれて揺れている姿も、哀愁があってしみじみします。

似ている仲間だけれど小ぶりなものに、スズメウリというものもあります。葉はカラスウリの小型版という感じですが、花はレースのようにはならない、ごく普通の花です。実も2センチに満たない小さなもので、熟すと白色になります。緑色から白色に変わる途中は、プリンスメロンのミニチュアのように、かわいいと言えなくもないです。

このようにスズメウリは地味ですが、沖縄スズメウリという植物もあり、こちらの実は熟すと赤地に白の縞模様がかわいらしいので、観賞用として種や苗が売られています。野生のカラスウリやスズメウリは街中に住む人にはなじみが薄いかもかもしれませんが、園芸種の沖縄カラスウリなら、育てて楽しんでみるのもいいかと思えます。

一度見たら忘れられない  
夏の夜に咲く  
妖艶な花…

秋の夕日に似た  
哀愁漂う果実…

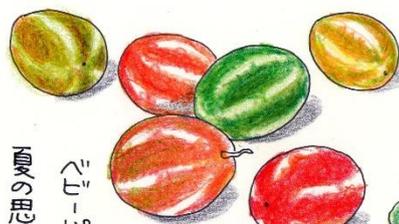
遠い昔の子供の頃の  
なつかしい記憶を  
呼び起こすような  
そんな植物です

夏の思い出  
ニゴロバナウマ

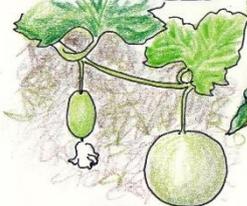
その昔は  
果実が黄色い  
キカラスウリの

根からとれるデンプンは  
天花粉と呼ばれ

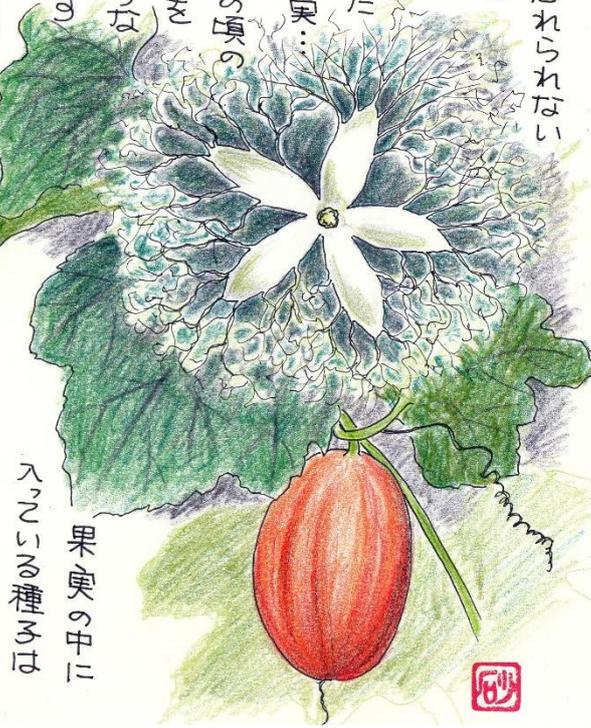
おしろいやおせも予防に使われていました



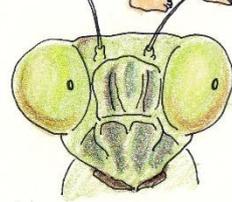
オキナワ  
スズメウリ



スズメウリ



果実の中に  
入っている種子は  
打ち出の小槌に  
形が似ていると言われ  
金運アップの守りに  
するのだとか



カマキリに  
似ている  
という  
説もある

